

## 第1章 概要

<b>I はじめに</b>	
1 熊本市の都市像	1
2 日本一の地下水都市	1
3 上下水道局の役割	1
<b>II 総括</b>	
1 熊本市上下水道事業経営基本計画	2
2 平成29年度総括事項	4
(1)水道事業会計	
(2)下水道事業会計	
(3)工業用水道事業会計	
<b>III 上下水道局の主な取り組み</b>	
主な出来事	5
1 水道の整備推進及び機能保全	6
(1)水道施設整備実施計画	
(2)第6次拡張事業	
(3)第10次漏水防止実施計画	
(4)水質検査計画(毎年度策定)と水質検査	
2 下水道の整備推進及び機能保全	8
(1)公共下水道の整備(公共下水道の整備計画)	
(2)下水道の適切な維持管理と計画的な更新	
3 災害に強い上下水道の確立	9
(1)総合的危機管理体制の確立	
(2)地震対策の推進	
(3)浸水対策の推進	
4 環境に配慮した水循環社会の形成	10
(1)「地下水都市くまもと」の水環境・水循環の保全	
(2)合流式下水道の改善	
(3)環境負荷低減策の推進	
5 お客さまを真ん中にした事業運営	11
(1)広報	
(2)お客さまの参画	
6 安定した事業経営	12
(1)水道事業会計の経理状況	
(2)下水道事業会計の経理状況	
(3)工業用水道事業会計の経理状況	
(4)上下水道局の組織と職員数	
<b>IV 業務指標</b>	
1 水道事業	14
(1)水道の普及に関する指標	
(2)水道施設・管路に関する指標	
(3)水道の維持管理に関する指標	
(4)水道事業における環境に関する指標	
(5)水道事業会計に関する指標	
(6)職員(水道事業会計支弁職員)	
2 下水道事業	20
(1)下水道の普及に関する指標	
(2)下水道施設・管路に関する指標	
(3)下水道の維持管理に関する指標	

(4)下水道事業における環境に関する指標	
(5)下水道事業会計に関する指標	
(6)職員(下水道事業会計支弁職員)	
<b>3 上下水道事業共通</b>	<b>26</b>
(1)行政区域に関する指標	
(2)災害に強い上下水道に関する指標	
(3)水循環社会の形成に関する指標	
(4)環境に配慮した事業運営に関する指標	
(5)広報・広聴に関する指標	
(6)職員に関する指標	

## 第2章 水道事業統計

<b>I 熊本市水道事業の沿革</b>	
1 水道事業のあゆみ	31
2 拡張事業の推移	32
3 水道関連年表	38
4 水道事業主要指標総括表	46
<b>II 主要工事</b>	
1 建設改良工事の概況	51
(1)水道施設整備事業	
(2)第6次拡張事業	
(3)災害復旧事業	
2 その他工事	53
(1)建設改良工事に伴う給水切替工事	
3 保存工事の概況	54
(1)配水費における維持修繕	(3)給水工事申込件数
(2)給水費における維持修繕	
<b>III 水道施設</b>	
1 水道の普及状況	55
(参考)住民基本台帳登録数に基づいて算出した給水人口等	55
2 水道施設総括表	56
3 機場	60
(1)取水施設	
(2)浄水施設	
ア 圧力式ろ過設備	
イ 次亜塩素酸ナトリウム滅菌設備	
ウ 紫外線処理設備	
(3)送水施設	
(4)配水施設	
ア 配水池施設	
イ 加圧配水施設	
ウ 配水池貯留能力	
4 管路施設	70
(1)口径別	
ア 導水管布設延長	
イ 送水管布設延長	
ウ 配水管布設延長	
エ 導・送・配水管布設延長	
(2)管路に関する指標	
ア 新設管路延長	
イ 管路の更新	
(3)送・配水管付属器具設置数	

5	その他の施設	73
	(1)水運用センター関連設備	
	(2)主な水質検査機器	
	(3)地下水観測井	
6	水道施設位置図	75
7	配水系統図	77
8	熊本市上水道給水区域変遷図	81
<b>IV 水道の維持管理(取水・配水・漏水防止など)</b>		
1	水源地別年間取水量	83
2	系統別配水量	84
3	配水量の分析(年度別)	84
4	電力使用状況	86
	(1)水源地別電力使用量	
	(2)水源地別電力料金	
5	水質検査結果	90
6	水質基準適合率	96
	(参考)給水栓水質検査地点位置図	96
7	口径別調定状況	98
8	用途別調定状況	100
9	1人1日あたり生活用水量	100
10	漏水防止状況	102
11	配水管等管理関係工事	103
	(1)移設及び嵩上げ工事	
	(2)他工事	
	(3)維持工事	
12	鉛製給水管率	103
<b>V 給水装置・加入金</b>		
1	加入金改定の変遷	105
2	現行手数料	105
3	加入金口径別収入状況	106
4	手数料収入状況	106
5	給水装置工事受付状況	107
<b>VI 水道事業会計財務統計</b>		
1	経理状況	109
2	予算決算対照表	110
	(1)収益的収入及び支出	
	(2)資本的収入及び支出	
3	損益計算書	112
4	貸借対照表	114
5	キャッシュフロー計算書	116
6	性質別支出状況	116
7	経営分析	118
	(1)業務分析比率	(3)収益率その他
	(2)財務分析比率	

### 第3章 下水道事業統計

<b>I 熊本市下水道事業の沿革</b>		
1	下水道事業のあゆみ	123
2	下水道法認可・都市計画決定の推移	125
3	全体計画	130
	(1)計画区域	
	(2)計画汚水量	
	(3)計画雨水量	

4	全体計画と事業計画	133
5	下水道関連年表	134
6	下水道事業主要指標総括表	138
<b>II 主要工事</b>		
1	建設改良工事の概況(1件5,000万円以上、税込)	141
	(1)管渠布設事業	
	(2)ポンプ場築造事業	
	(3)処理場築造事業	
	(4)管渠布設事業(雨水)	
2	保存工事の概況	144
<b>III 下水道の整備状況</b>		
1	下水道の普及状況と面積の推移	147
2	整備面積	147
3	処理区域面積	147
4	管路整備	147
5	都市下水路(雨水幹線)	148
6	ポンプ場	149
	(1)ポンプ場調書	
	(2)マンホールポンプ場調書	
7	マンホール数、汚水・雨水ます数	154
8	災害用マンホールトイレ	154
9	浄化センター	154
	(1)中部浄化センター	
	(2)東部浄化センター	
	(3)南部浄化センター	
	(4)西部浄化センター	
	(5)城南町浄化センター	
10	下水道施設位置図	161
11	熊本市公共下水道事業計画一般図	163
<b>IV 下水道の維持管理</b>		
1	下水道維持管理の概要	165
2	浄化センター・ポンプ場の施設機器更新率	165
3	下水道施設年間電力使用量	165
4	管渠	165
5	ポンプ場揚水量	166
6	年間処理水量・有収水量	167
7	年間汚泥発生量・処分量	168
8	浄化センター水質検査結果	169
<b>V 排水設備・受益者負担金</b>		
1	受益者負担金制度	173
2	排水設備工事受付状況	173
3	受益者負担金及び分担金調定収納状況	173
4	受益者負担金の減免制度	173
5	受益者負担金の徴収猶予	174
6	受益者負担金減免及び猶予状況	174
7	私道内の公共下水道布設取扱	174
8	排水設備普及促進	175
	(1)水洗化の状況	
	(2)共同排水設備設置への助成	
	(3)改造資金の融資あっ旋及び利子補給	
	(4)生活保護世帯に対する助成制度	
	(5)排水設備工事店の届出及び指定	

9	特定事業場等の排除下水の水質規制	177
	(1)下水道法及び熊本市下水道条例に基づく下水排除基準	
	(2)平成29年度事業場立入水質検査実施状況	
<b>VI 下水道事業会計財務統計</b>		
1	経理状況	179
2	予算決算対照表	180
	(1)収益的収入及び支出	
	(2)資本的収入及び支出	
3	損益計算書	182
4	貸借対照表	184
5	キャッシュフロー計算書	186
6	性質別支出状況	186
7	経営分析	188
	(1)施設の効率化	
	(2)施設の効率性	
	(3)財政状況の健全性	

## 第4章 共通統計

<b>I 災害に強い上下水道の確立</b>		
1	(水道)災害対策用貯水施設	191
2	(水道)非常用発電・予備電力施設	191
3	(水道)耐震性貯水槽	192
4	(水道)応急給水設備	192
5	(水道)応急給水施設密度	192
6	(水道)配水池耐震化率	193
7	(水道)浄水施設耐震化率	193
8	(水道)ポンプ所耐震化率	193
9	(水道)耐震適合性のある基幹管路の割合	193
10	(水道)水道管路の耐震化率	193
11	(下水道)下水道ポンプ場及び浄化センターの耐震化率	194
12	(下水道)下水道管路の耐震化率	194
13	(下水道)浸水対策における重点6地区の対策率	194
<b>II 「地下水都市くまもと」の水環境・水循環の保全</b>		
1	白川中流域水田を活用した地下水かん養事業	195
2	阿蘇郡西原村の国有林を活用した水源かん養林の整備	195
3	水道水をおいしいと感じる市民の割合	195
4	直結給水率	195
5	下水処理水の再利用	196
6	汚水処理率	196
7	合流式下水道改善率	196
8	高度処理人口普及率	196
<b>III 環境負荷低減策の推進</b>		
1	エネルギーの使用に伴い発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量	197
2	配水量1m <sup>3</sup> あたり二酸化炭素排出量	197
3	処理人口1人あたり温室効果ガス排出量	197
4	水道施設における自然エネルギー発電量	197
5	汚泥の有効利用	198
6	下水汚泥消化ガス発電	198

<b>IV お客さまを真ん中にした事業運営</b>		
1	上下水道施設見学者数	199
2	出前講座等参加者数	199
3	ホームページ閲覧数	199
4	アンケート回答者数	200
5	パンフレット等の作成状況	200
<b>V 検針・水道料金・下水道使用料</b>		
1	検針状況	201
2	水道料金累積収納状況	201
3	下水道使用料累積収納状況	201
4	水道料金収納方法別調定件数	201
5	水道料金改定の変遷	202
6	共同住宅の料金	208
7	量水器	209
	(1)年度別設置数	
	(2)購入状況	
	(3)量水器出入庫管理状況	
	(4)隔測メーター設置状況	
	(5)量水器改良工事施工状況	
	(6)量水器使用料改定の変遷	
8	下水道使用料改定の変遷	211
<b>VI 組織・機構(平成30年3月31日現在)</b>		
1	機構図	215
2	事務分掌	216
3	職員数及び配置	219
4	勤続年数別職員構成	220
5	年齢別職員構成	220
<b>(参考資料)平成30年度の組織・機構(平成30年4月1日現在)</b>		
1	機構図	221
2	事務分掌	222
3	職員数及び配置	225
4	勤続年数別職員構成	226
5	年齢別職員構成	226

## 第5章 工業用水道事業統計

<b>I 工業用水道事業統計</b>		
1	工業用水道事業の概要	227
2	工業用水道事業の届出	227
3	業務指標	228
4	工事	228
5	料金	228
6	財務統計	228
	(1)予算決算対照表	
	(2)損益計算書	
	(3)貸借対照表	
	(4)キャッシュフロー計算書	